



「永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに、誠実を尽くし続けた。おとめイスラエルよ。わたしは再びあなたを建て直し、あなたは建て直される。」(エレミヤ 31:3~4)



エターナル・ラブ・イスラエルは、日本国内でユダヤ人に福音を伝える働きです。

- 事務局：〒226-0014 横浜市緑区台村町 186 番地 TEL:090-8729-0856
- メール：eternalloveisrael@gmail.com ●ホームページ：<http://eli.holy.jp>
- 銀行口座：三菱東京 UFJ 銀行 武蔵新城市駅前支店 普通預金 0909009 エターナル・ラブ・イスラエル
- 郵便振り込み：00200-9-79214 エターナル・ラブ・イスラエル



代表 宮本 純子(聖契神学校卒業、WMTC 世界宣教研修センター卒業)

☆イスラエル独立記念日 75 周年☆



(中山泰秀元防衛副大臣と)

ハレルヤ！主の聖名を心から賛美いたします。

愛する皆さま、いかがお過ごしでいらっしゃいますか？

いつもエターナル・ラブ・イスラエルの働きのためにお祈りと尊いご献金で支えてくださり心から感謝致します。

去る 5 月 31 日、日本イスラエル親善協会主催による「イスラエル独立 75 周年記念式典」がいきいきプラザ(東京千代田区)にて開催されました。

記念式典では、両国の国歌斉唱の後、ギラッド・コーヘン駐日イスラエル大使、外務省中東アフリカ局長の長岡寛介氏、元防衛副大臣の中山泰秀氏から祝辞が述べられました。



(コーヘン駐日イスラエル大使)

ギラッド・コーヘン駐日イスラエル大使はご挨拶の中で「日本とイスラエルは今、良好な関係に基づく戦略的なパートナーであり、大切な友好国として互いに認識しています。」と、語って下さいました。そして、両国が二つの大切な協定を結んだこと。一つは、総務省が所管する「情報通信技術 郵便分野における覚書」であり、もう一つは、外務省が所管する「ワーキングホリデー制度を導入する協定の調印」です。今回の合意で、今年 9 月から発効の見込みですが、18 歳から 30 歳までの両国民は最大 1 年間、相手国の居住ビザを取得し、働きながら学びや観光が自由に出来るようになります。これは両国の将来を担う若者たちの交流を進める画期的な事業です。



第二部では「現代に生きるユダヤの響き」チェロとピアノのアンサンブル演奏でした。ウクライナ出身の作曲家、ヨアヒム・ストウチェフスキーのユダヤ音楽やユダヤの歌、ハシディーム組曲などを披露して下さいました。

ヨアヒム・ストウチェフスキー(1891-1982)は、ウクライナで三代続くユダヤ人家庭に生まれ、若い頃からクレズマー音楽(東欧系のユダヤ民謡)に没頭し、1930 年代にナチスの迫害を逃れてパレスチナへ移住しました。

崇高な旋律の素晴らしい演奏でした。

☆AD70 年、ユダヤ民族が世界中に離散。二千年もの長い間、ユダヤ民族としての存在を維持し、イスラエルの地を決して忘れることはありませんでした。ホロコーストなどの迫害の歴史を経て、聖書の預言が成就し、1948 年 5 月 14 日、イスラエルが建国しました。現在も世界中からユダヤ人がイスラエルに帰還しています。どうかイスラエルの回復のために、ユダヤ民族がイスラエルに帰還出来ますようお祈りください。

☆シャローム！イスラエル☆



8月23日(水)から30日(水)までの8日間、イスラエルに行ってきました。私にとって16年ぶり21回目となるイスラエルでした。

エターナル・ラブ・イスラエルは、30周年を迎え、新たなステージの一步を主イエス様に導かれて歩いていきたいと思ひます。

「シオンに良い知らせを伝える者よ。高い山に登れ。エルサレムに良い知らせを伝える者よ。力の限り声をあげよ。声をあげよ。恐れるな。ユダの町々に言え。『見よ。あなたがたの神を。』」イザヤ書40章9節

私は、オリーブ山に登り、エルサレムを見渡し、心の中で大きく声をあげ、力の限り「神様が愛し、選ばれたイスラエルの民が、イエス様こそがメシアであると信じて救われますように。」と、祈りました。



「ああ、エルサレム、エルサレム。預言者たちを殺し、自分に遣わされた人たちを石で打つ者。わたしは、めんどりがひなを翼の下に集めるように、あなたの子らを幾たび集めようとしたことか。それなのに、あなたがたはそれを好まなかった。」マタイの福音書23章37節

イエス様は、オリーブ山からエルサレムを眺めて涙を流しながら祈られました。今でも彼ら、多くのユダヤ人たちはメシア(救世主)が来られるのを待ち望んでいますが、イエス様をメシアとは受け入れていません。

2000年前に、罪のない神の小羊であるイエス様が全人類の罪を贖うために、十字架にまで架かられて、尊い血を流し、救ってくださることをユダヤ人たちが信じる事が出来ますようどうかお祈りください。



イエス様は、もう一度エルサレムに戻って来られます。主が再臨される時、今は閉ざされている黄金の門が開いて入城されます。

オリーブ山から黄金門に向かって多くのお墓が広がります。それは、真っ先にメシアとお会いするためです。



「私たちは主のみことばのとおりに言いますが、主が再び来られるときまで生き残っている私たちが、死んでいる人々に優先するようなことは決してありません。」テサロニケ人への手紙第一4章15節

私は、嘆きの壁で必死にイスラエルの救いとエルサレムの平和のために祈りました。その後、私が2000年から2007年まで宣教師として遣わされていたクライストチャーチを訪れました。

丁度、これから行われる結婚式の支度の最中でした。

私は、エターナル・ラブ・イスラエルがキリストの花嫁としてこれからも歩いていけるようにお祈りしました。



イスラエルは、聖書の国であり、聖地エルサレムは神様の永遠の愛であふれています。

私は、16年ぶりにイスラエルを訪れ、神様からの愛に包まれて祝福を感じました。日本に帰国しても、どこにいても主が共にいてくださることに祝福を感じ、感謝いたします。

☆聖地イスラエル☆

宮本 純子



小さな国のはずなのに、あなたはたくさんの表情をもっている不思議な国。
春のシャロンの野原がただ一面に目の前に広がると、嬉しくて走り出す。
みどり色の絨毯にまぜた赤や白や紫のアネモネが風に揺れている。
でもしばらくしたら乾いた荒野に変身してしまう。
ガリラヤ湖はラピス・ラズリのように青く、そして普段は優しく、嵐の時には、
激しく水面が踊る。
ネゲブ砂漠は、真っ赤に燃えているように熱く、神秘的な光景はずっと眺めて
いたくなる。
死海は、とても静か、人を癒し、貴重な資源を与える不思議な水、
その塩分の濃さは人も浮かせ、雪のような塩のまぶしい銀世界も広がる。
エルサレムは、黄金に輝く美しい聖なる都。
小さな国のはずなのに、あなたはたくさんの表情をもっている不思議な
国。国境付近は、戦時下のような緊張感があるのに、国内は微塵も感じない。
車の隣りをロバが通り過ぎ、
超近代的な建物の隣りには古代の遺跡がのこされている。
モスクと教会とシナゴークが隣りどうしに並び、
コーランを読む声に教会の鐘とユダヤ教徒の吹く角笛がまじりあう。
リュックを背負う旅人の前を羊の群れとバドウィンの少年が横切り、
街の中には長いもみあげの黒装束のユダヤ教徒が道を急いで歩いている。
有限と無限、戦争と平和、近代と古代、ありとあらゆる相反するものが同居し
ている国、イスラエル。長い歴史をもっているのに、まだ若い国であり、
いつの時代も地中海からの穏やかな風が吹いている。
イスラエル、神さまが永遠の愛で愛しておられる国。
イエス様がメシアとして、王としてお生まれになり、歩まれた国。
私たちの霊的なふるさとイスラエル。神さまの愛が伝わってくる聖なる地。

2023年夏、私は、テル・ベテシヤン(世界遺産に登録)、死海、ロトの妻の塩柱、マサダ、死海写本が発見されたクムラン、エリコなどの古代遺跡を見た後、ガリラヤ方面に向かい、ティベリア、山上の垂訓教会、ピリポ・カイザリヤのバニアスの遺跡、2匹の魚と5つのパン教会、ペテロの召命教会、カパナウムのシナゴークなどを見て、ガリラヤ湖の遊覧船にも乗りました。カナの婚礼教会、ナザレの受胎告知教会を訪問した後、ベツレヘムの聖誕教会にも行きました。それからエルサレムへ向かいました。エルサレムを走る路面電車と線路の橋や高くそびえ立つ高層ビルの数々などを目にしました。新市街は、ますます近代化していく一方で、旧市街はいつの時代も変わらない特別な雰囲気でした。

私は、荒野の遺跡を眺め、渴いた土地にも水(貯水槽や井戸)があり、生きていくために必要なもの(知恵など)を備えてくださる神様がおられることを感謝しました。30周年を迎えたエターナル・ラブ・イスラエルの新たなステージのためにこれからもお祈りとご支援をよろしくお願い致します。

☆ 祈りのリクエスト ☆

「エルサレムの平和のために祈れ。『おまえを愛する人々が栄えるように。おまえの城壁のうちには、平和があるように。おまえの宮殿のうちには、繁栄があるように。』」(詩篇 122:6~7)

☆ 主のご再臨のために。イスラエルの回復と救いのために。日本のリバイバルのために ☆



☆ 神様の深遠なるご計画の中で特別に選ばれ、愛されているユダヤ民族、イスラエルの平和が守られ、神様の計画と御心が成りますように。
☆ 世界中からユダヤ人がイスラエルに帰還することが出来ますように。
☆ 混乱しているイスラエル国内情勢と国政のためにお祈りください。
☆ 世界情勢が激しく動く中、世界中の政治的指導者たちが、神様からの正しい知恵と判断力が与えられ、政治を進める事が出来ますように。
☆ 世界中で起きている戦争、紛争、軍事侵攻、テロ、あらゆる対立などがなくなり、平和となりますように。

☆ 日本イスラエルの両国間の関係があらゆる分野で発展し、更に良い外交関係を築くことが出来ますように。
☆ 一人でも多くのユダヤ人がこの日本で、イエス・キリストに出会い救われますように。
☆ イスラエルの民、ユダヤ人の救いのために。イエス様を信じて救われる魂が多く起こされますように。
☆ クリスチャンがユダヤ人迫害をした歴史があります。ユダヤ人とクリスチャンが和解できますように。
☆ メシアニック・ジューの一人一人の信仰を強めてくださり、イスラエル国内で大胆に伝道できますように。
☆ イスラエルの回復のために神様の御心に従って祈り、愛をもって伝道が出来ますように。
☆ エターナル・ラブ・イスラエルのユダヤ人伝道の働きが主に祝福されますように。

☆ 2023年 秋のユダヤの祭り ☆



☒ 9月15日~17日 ロシュ・ハシャナー(新年、ラツパの祭り)

ユダヤ暦新年は西暦の9月(ティシュレ月)1日から始まります。

今年は、ユダヤ暦 5784 年を迎えます。神様が天地創造を行ったことを記念します。新年を祝い、「甘い年となりますように。」と、リンゴにハチミツをかけて食します。

☒ 9月24日~25日 ヨム・キプール(大贖罪日)

ユダヤ教徒は新年ロシュ・ハシャナーから10日間懺悔をし、10日目のヨム・キプールは断食をして一年間の罪を悔い改めます。イスラエルでは、最も重要な日で全ての施設が休みです。

☒ 9月29日~10月6日 スコット(仮庵の祭り)

イスラエルの民が出エジプト後8日間仮庵住まいだったことを記憶し、仮庵を建てて食事をします。秋の収穫を祝う意味もあります。イスラエルでは、初日のみ全ての施設が休みです。

☒ 10月1日 エルサレムの平和のために祈る国際祈祷デー

エルサレムは、「平和の町」という意味です。特別な聖なる土地、永遠の都エルサレムのために祈りましょう。

☒ 10月7日 シムハット・トーラー(律法の歓喜祭)

ユダヤ人は、トーラー(モーセ五書)を1年間で読了します。新年を迎えまた創世記から読み始めるにあたり、トーラーを与えてくださった神様に感謝し、読了をお祝いします。

🌸 皆さまの上に神様の祝福と恵みが豊かにありますよう心からお祈り申し上げます。

2023年9月 秋号発行(季刊誌)